

ほっと人権

—第9号—

平成 18 年 11 月 25 日・26 日

学校支援部 人権教育担当

寒くなったら、やっぱりODENですね～

【研修会】「反バイアス学習ガイド」が手に入る多様性教育実践セミナー

～あなたの教室に、学校に、地域に、多様性教育を！～

【日 程】平成 18 年 11 月 25 日（土）・26 日（日）

【会 場】大阪福祉人権推進センター「ヒューマインド」

（浪速区久保吉 2-2-3）

【参加者】11 名（必要に応じてスタッフの方も参加）

担当者が、この地を訪れるのは 8 か月ぶり。ＪＲ芦原橋駅を出ると思わず「大阪人権博物館」の方向に進んでしまいそうになりましたが、今回の目的地は逆向き。大阪の人権教育の発信の拠点「大阪人権センター」前を通り過ぎると会場のヒューマインドが見えてきます。



【研修の概要】 ファシリテーターはODEN(大阪多様性教育ネットワーク)のスタッフが交替しながら担当してくれました！

1日目 午前

- 紹介と歓迎
- プログラムの流れの紹介
- 基礎ルールづくり
- ワーク
「アイデンティティの分子－part 1－」
- ワーク「ヒーローにさせるものは？」
（文化的多様性）

2日目 午前

- 振り返りと歓迎
- 「反バイアス学習ガイド」の概要説明
及び今後の作業の説明
- 学年別プラン作成

1日目 午後

- ワーク「5円玉」
- ワーク
「アイデンティティの分子－part 2－」
- バイアスを読み解く
「間違った情報とうわさ」
- バイアスに立ち向かう「役割の定義」
「差別に立ち向かうための戦略」
- 「反バイアス学習ガイド」の概要説明
- 明日の予告とグルーピング
- 本日の振り返り

2日目 午後

- 学年別プランのプレゼンテーション
（①模擬授業 20 分間、意見交換 10 分間）
- 研修の振り返り「さん・に・いち・おしまい」
- 2 日間の振り返り／クロージング
「すてるもの・もちかえるもの」

★今回の研修プログラムです！ 関連する書籍として「多様性教育入門－参加型人権教育の展開－」が作成されています。お勧めの書籍です。

参加しての感想等

■トラブルを楽しみながら研修を受ける???

受講者の多くは大阪の方でしたが、遠くは熊本から（よく考えれば私も十分に遠い）3人の小学校教員が参加していました。参加者は全員が初対面であり最初は硬い雰囲気でしたが、同業者が多いこととODENのスタッフの心遣いや巧みな言語表現により、すぐに笑顔やうなずきが出始めました。

研修の途中で「いいな！」と思うフレーズがありました。それは「トラブルを楽しもうよ！」です。一瞬、「？」という感じでしたが、「ああ、なるほどそうだ！」と納得しました。この言葉を聴き、余計な力が抜けていく自分に気がきました。間違いを素直に出せる学級経営をめざそう！更に間違った発言などから学びを深められる授業にしよう！と言ってきた自分と、この日の自分を比べて反省したことでした。でもうれしい気づきでした。

違う年代の方や県外の方々と出会い話をすると、やはり新たな発見がありますね。そして個々の人間の多様さと豊かさを感じます。そういえば「もっとワクワクしようよ！豊かに生きようよ！」はODENの方々が一貫して大事にしている姿勢であるという紹介がホームページにあったなあ。

■日本は、同質社会？

「日本は同質社会だ。」という人がいますが、はたして本当にそうなのでしょうか。同質性が高いのではなく、多様性を認めようとしなない社会、換言すれば、同質化・同調化を求める圧力が強い社会と言えるのではないのでしょうか。ODENのスタッフの方々は言います。「同質化を求める圧力の高い社会にいと、知らず知らずのうちに『普通の人』と『普通でない人』という枠組みができてしまっている。この枠組みにとらわれていると、『排除の論理』や『違和感』にいつまでも縛られてしまう。」と。あなたやあなたの周りは、大丈夫ですか？同質化・同調化を求める雰囲気はありませんか？

■大事なものは人権感覚と想像力、そして仲間

ODENでファシリテーターをしている方の多くは教員です。これぞ職人芸というファシリテートではないのですが、共に学んでいるという雰囲気が漂う心地よさがありました。非常に感覚が近いので、気軽に話しかけることができました。また、受講者の8割以上が教員であったので、参加者はおとなばかりなのに、子どもを中心に据えて考える研修となっていました。

今回の研修で、私は「特権」を持っていることに気付かされました。ここでいう特権とは、私にとって社会的に有利にはたらく因子のことです。私は因みに男性です。このことは日本社会においてはプラスにはたらくことが多いように思います。それから私は異性愛者です。これも同様にプラスの中に入るでしょう。更に私は日本国籍を持っていますし、いわゆる「健常者」でもあり、定職に就いています。私にとっての当たり前が、実はそうではなく「特権」として付いて回っているということなのです。特権で満たされた部屋の中で安穩と過ごしている者には、特権は見えづらいものです。「健常者」である自分を意識したとき、自然と「障害者」のことに思いを馳せることができますか？

自分を振り返ったとき、何気なく発している言葉の中に、きっとこの特権に起因する発言があるはず。これに気付ける人権感覚と想像力、気付かせてくれる仲間の存在って大事ですね。

★★★ ODENとは・・・ ★★★

Osaka Diversity Education Network
(大阪多様性教育ネットワーク)の頭文字をとった略称です。アメリカの人権擁護のための非営利団体 ADL が提供する多様性教ファシリテーター養成講座に参加したメンバーが、多様性教育を広めるためにつくったグループです。

詳しくは、ODENのホームページをご覧ください。

<http://www5d.biglobe.ne.jp/>